



SOIKEN

株式会社 総医研ホールディングス

BUSINESS REPORT

第24期 中間報告書

2017年7月1日から2017年12月31日まで





代表取締役社長

石神 賢太郎

株主様に向けて、社長就任の意気込み等をお話してください。

この度は大任を引き受けることとなり、身が引き締まる想いです。

小池前社長は、業績が最も落ち込んだ時期に社長に就任し、事業の選択と集中や経営改革を推進され、就任後は7期連続の増収、過去最高の連結売上高の更新、安定黒字化、復配等を成し遂げられました。一方、私は、小池前社長の体制の下で、日本予防医薬(株)の社長として、健康補助食品事業においてイミダペプチド等の販売事業を一から立ち上げ、現在の規模にまで拡大させるという実績と経験を積みしました。

現状においても連結業績の拡大傾向が続いておりますので、私としては、これまでの経験を活かして、基本的には小池前社長の路線を継承した上で、改善すべき点は改善し、さらに良くしていくことを目指してまいりたいと考えております。

業績の拡大を図り、株主様への積極的な利益還元を行うことが、

略歴

1996年 4月	(株)日本エル・シー・エー入社
2005年 6月	当社入社 総務部
2007年11月	日本予防医薬(株) 取締役就任
2009年 9月	日本予防医薬(株) 代表取締役社長就任(現任)
2015年 9月	当社取締役就任
2018年 1月	当社代表取締役社長就任(現任)

上場会社の社長の務めであると認識しております。株主様におかれましては、ご支援を賜りますようお願いいたします。

当第2四半期の業績と通期の見通しについてご説明ください。

当第2四半期においては、越境EC向けの商品の販売が好調に推移したことにより化粧品事業が前年同期比で大幅な増収および増益となったほか、広告宣伝活動の効果や定期購入顧客の増加等により、健康補助食品事業も増収となりました。また、2017年6月に連結子会社化した㈱NRLファーマが営む機能性素材開発事業が、連結業績に寄与しました。その他の事業は概ね前年同期程度の業績となり、連結売上高は前年同期比で37.3%増加し、第2四半期決算における過去最高の連結売上高を更新しました。

一方、利益面では、健康補助食品事業において夏場に積極的に投下した広告宣伝費等が先行費用となりましたが、化粧品事業の増収を主因として、連結経常利益が前年同期比で556.0%増となる等、大幅な増益となりました。

当第2四半期決算では、化粧品事業が売上高、利益ともに計画を上回る進捗となり、その他は概ね計画どおりに推移しておりますが、現時点では化粧品事業の販売動向に不確実性があること等から、通期の連結業績予想は据え置いております。

一層の事業拡大に向けた戦略についてご説明ください。

最近は、健康補助食品事業と化粧品事業が連結業績拡大の牽引役となっておりますが、これらの事業では、「エビデンス」に基づく当社グループならではのユニークな商品が消費者に広く認知され、販売の増加傾向が続いています。この背景には、モバイルを含むインターネット通信の普及や、SNS等による口コミでの情報伝達の広がりにより、情報の偏在がなくなってきたり、グローバルな規模で、良い商品が相応に認知されやすくなっていることがあると思います。このようなことから、当社グループでは、今後とも、「エビデンス」に基づくユニークな商品とサービスの開発を行い、海外市場も含め、「エビデンス」に基づいて普及させていくという戦略を推進してまいります。

また、2017年6月に連結子会社化した㈱NRLファーマとのシナジーを発揮し、健康補助食品事業や化粧品事業において、ラクトフェリンを使用した商品を次の主力に育てていきます。さらには、新規素材の開発にも積極的に取り組み、販売力のある他社に素材や商品の提供を提供する形の事業にも注力したいと思います。

概ね以上のような戦略により、企業価値の向上と業績の拡大を図ってまいります。

「鉄壁ラクトフェリン」を新発売



鉄壁ラクトフェリン

健康補助食品事業を行う日本予防医薬(株)は、2018年2月、免疫機能に着目した健康補助食品「鉄壁ラクトフェリン」を発売しました。この商品は、当社が2017年6月に連結子会社化した(株)NRLファーマのラクトフェリン素材と腸溶加工技術を活用して、同社と共同で開発したものです。

「鉄壁ラクトフェリン」は、ラクトフェリン、ビフィズス菌ロニガム種、乳酸菌(ロイコM048株)という3種類の免疫機能関与成分を配合しています。また、各成分が胃酸等で分

解されることなく腸まで届くようにするため、(株)NRLファーマの特許技術である腸溶加工技術によりコーティング加工をしています。

当社グループでは、(株)NRLファーマのラクトフェリンを使用した健康補助食品や化粧品を新たな主力商品に育てる方針であり、現在、ラクトフェリンを使用した化粧品の開発も進行中です。

「HMBカルシウム」と「クレアチン」を新発売

健康補助食品事業を行う日本予防医薬(株)は、2017年11月、ロコモティブシンドローム(運動器症候群)に着目した健康補助食品として「HMBカルシウム」および「クレアチン」を新発売しました。

ロコモティブシンドロームとは、加齢や運動不足による骨量および筋肉量の減少等により歩行や立ち座り等の日常生活に障害を来している状態のことであり、進行すると要介護や寝たきりになる恐れがあります。

「HMBカルシウム」は、筋肉の維持と増強の働きがあ

るHMBと骨を健康に保つカルシウムを結合したHMBカルシウムを、1本あたり1,500mg配合するドリンクタイプの商品です。また、「クレアチン」は、運動時のエネルギー産生を高め、筋力の向上に役立つアミノ酸であるクレアチンを、1包あたり3,000mg配合する粉末スティックタイプの商品です。

「HMBカルシウム」と「クレアチン」は組み合わせて摂取することによって相加効果が期待できます。



HMBカルシウム



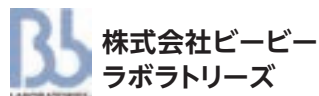
クレアチン

グループ・セグメント概況

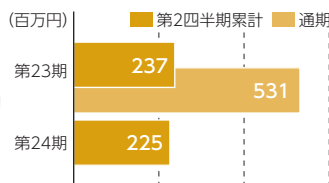
科学的根拠

“エビデンス”で暮らし、医療に貢献

当社グループは、大学発のバイオマーカー技術に基づく「エビデンス」の構築および活用に強みを有しており、国民の健康の維持および増進ならびに医療資源の効率的活用等に資する様々なサービスや商品を開発し、提供しています。



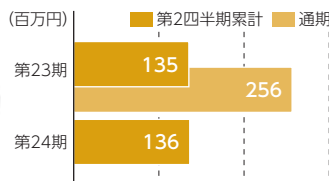
生体評価 システム 事業



売上高 **225** 百万円 (前年同期比5.1%減)

医薬臨床研究支援事業の受注の減少等により、前年同期比で若干の減収および減益となりました。

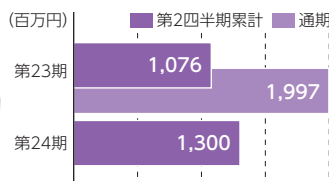
ヘルスケア サポート 事業



売上高 **136** 百万円 (前年同期比1.0%増)

健保組合向けの各種サービスが安定的に推移し、概ね前年同期と同程度の売上高および営業利益となりました。

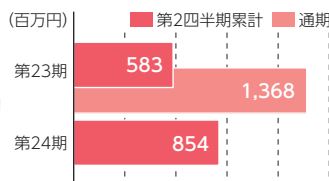
健康補助 食品事業



売上高 **1,300** 百万円 (前年同期比20.8%増)

定期購入顧客の増加等により「イミダペプチド」の販売が好調に推移し、前年同期比で増収となりましたが、広告販促費が先行したことにより減益となりました。

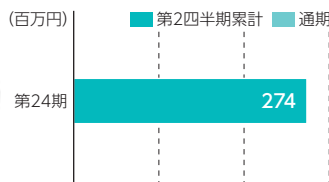
化粧品 事業



売上高 **854** 百万円 (前年同期比46.3%増)

ヒット商品である「PHマッサージジェルPro.」を中心とする越境EC向けの商品の販売が増加傾向で推移したことから、前年同期比で大幅な増収および増益となりました。

機能性素材 開発事業



売上高 **274** 百万円

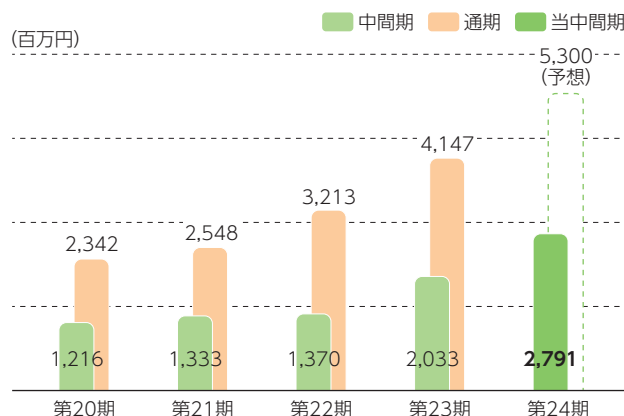
ラクトフェリン原料の販売ならびにラクトフェリンの腸溶加工技術および脂質代謝改善用途に関する特許提供によるライセンス収入等が業績に寄与しました。

(注) 前連結会計年度において、㈱NRLファーマの株式を取得し、連結範囲に含めたことにより、報告セグメント「機能性素材開発事業」を追加しております。
また、第1四半期連結会計期間より、当社グループ内の事業管理区分の変更に伴い、従来「マーケティング事業」に含まれていた事業のすべてを「健康補助食品事業」に集約したことにより、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で行っております。

財務ハイライト

売上高

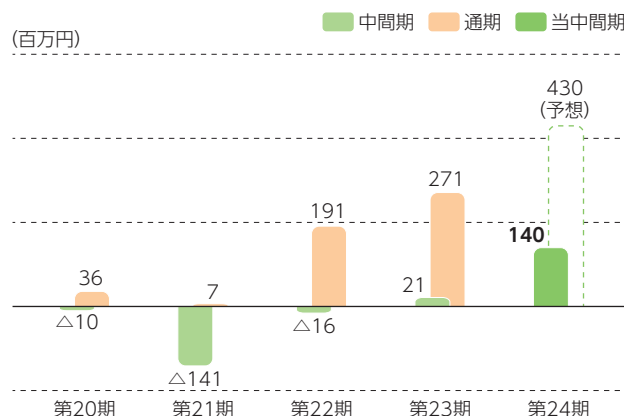
27億91百万円



化粧品事業において、「PHマッサージゲルPro.」等の越境EC向け商品の販売が好調に推移したことを主因として売上高が増加したこと等から、前年同期比で増収となりました。

経常利益又は経常損失

1億40百万円



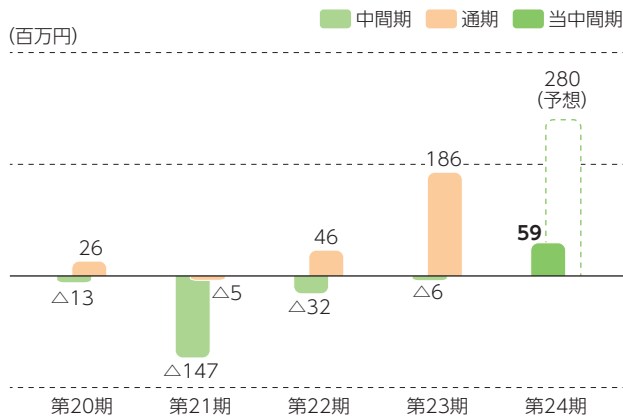
健康補助食品事業において広告宣伝費および販売促進費が増加しましたが、化粧品事業の営業利益が増収により増益となったことを主因として、前年同期比で増益となりました。

○キャッシュ・フロー指標

	第23期 第2四半期 連結累計期間	第23期	第24期 第2四半期 連結累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△107,232	133,500	△371,165
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△156,891	1,256,673	△204,923
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	△120,000	△120,000	△275,873
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高 (千円)	1,684,504	3,338,802	2,486,839

親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益又は純損失

59 百万円

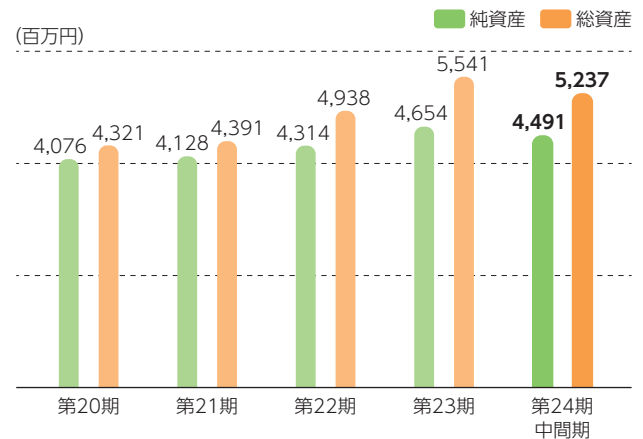


経常利益と同様の要因により、前年同期比で増益となりました。

純資産・総資産

純資産 44 億 91 百万円

総資産 52 億 37 百万円



総資産は、有価証券および商品が増加したものの、現金及び預金が減少したことにより、前期末比で304百万円減少しました。純資産は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得により、前期末比で163百万円減少しました。

○1株当たり指標ほか

	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期 第2四半期 連結累計期間
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失 (円)	0.99	△0.21	1.79	7.13	2.26
	第20期	第21期	第22期	第23期	第24期 第2四半期
自己資本比率 (%)	94.3	94.0	85.7	78.8	83.2

「オールデアイクリーム」を発売

化粧品事業を行う㈱ビービーラボラトリーズは、2017年9月、目元ケア用の美容液である「オールデアイクリーム」を発売しました。

「オールデアイクリーム」は、保湿成分植物ホルモンの一種「カイネチン」、女性ホルモン様植物成分「ダイズイソフラボン」、「3Dヒアルロン酸」、天然の保湿

成分「シロキクラゲ多糖体」、「α-アルブチン」等の美容成分を配合しており、名前のとおり朝も夜も使えて、潤いが24時間継続するアイクリームです。

「オールデアイクリーム」は、All Aboutの美容専門家が選ぶ「ベストコスメ大賞2017(通販コスメ)乳液・クリーム部門」の第2位を受賞しました。



会社概要

商号	株式会社総医研ホールディングス (英文社名: Soiken Holdings Inc.)
本社	〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1丁目4番2号 千里ライフサイエンスセンター13階
設立	1994年7月26日
資本金	1,836百万円 (2017年12月31日現在)

株式の状況 (2017年12月31日現在)

発行可能株式総数	86,396,800株
発行済株式の総数	26,158,200株
株主数	12,401名

大株主の状況 (2017年12月31日現在)

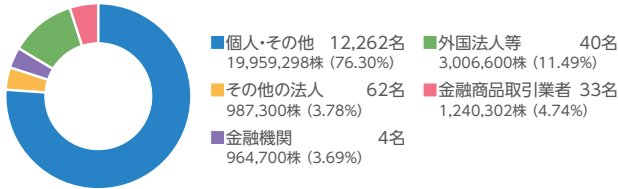
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
梶本 修身	4,426,800	16.9
梶本 智子	2,798,000	10.6
奈良田 隆	1,156,900	4.4
BARCLAYS BANK PLC	938,800	3.5
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED	934,800	3.5
(株)GMS	893,600	3.4
松井証券(株)	711,400	2.7
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	529,800	2.0
BNYMSANV RE GCLB RE JP RD LMGC	384,600	1.4
井上 昌治	350,000	1.3

役員一覧 (2018年1月31日現在)

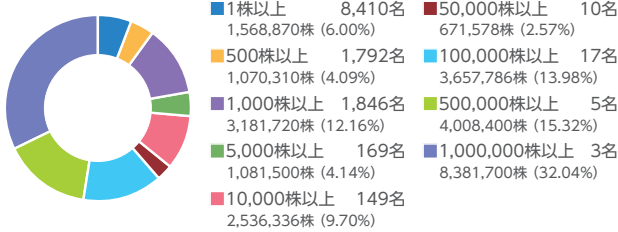
代表取締役社長	石 神 賢太郎
取締役	梶 本 修身
取締役	田 部 修
取締役	杉 野 友 啓
監査役	林 一 弘 (常勤)
監査役	細 川 明 子
監査役	松 井 良 太

株式分布状況 (2017年12月31日現在)

○所有者別



○所有株式数別



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
定時株主総会	9月中	住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関にお申出ください。
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年 6月30日 中間配当 毎年12月31日		
公告掲載方法	電子公告 (公告掲載URL http://www.soiken.com/)		
株主名簿管理人 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	大阪府中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		

株主優待のご案内

当社では、株主様からの日頃のご支援に感謝するとともに、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ること、および当社グループの事業へのご理解を賜ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

年1回(9月末頃)、毎年6月30日の株主名簿に記載または記録された株主様を対象として、株式会社ビービーラボラトリーズのお買物優待券および日本予防医薬株式会社のお買物優待券を贈呈いたします。

(株)ビービーラボラトリーズのお買物優待券		
優待内容	ご所有株式数 100株以上499株以下	20%割引券 1枚
	ご所有株式数 500株以上	40%割引券 1枚
ご利用申込期限	毎年12月31日まで	
ご利用対象商品	原則として全商品 ^{※1}	
ご利用上限金額	ご所有株式数 100株以上499株以下	お買物合計金額 21,600円 ^{※2} まで
	ご所有株式数 500株以上	お買物合計金額 32,400円 ^{※2} まで

- (ご注意事項)
- ※1 雑貨やキャンペーン商品等、一部の商品は割引対象外となります。
 - ※2 ご利用上限金額は、割引適用前のお買物合計金額を基準として適用します。
 - ※3 お買物優待券は専用のお申込ハガキを兼ねたものとなっており、当該ハガキ以外の方法によるお申込み、またはご利用期限(消印有効)の後のお申込みは、お受け付けできません。
 - ※4 代金のお支払方法はクレジットカードまたは代金引換のみとなります。
 - ※5 商品の送料およびハガキの郵送料は当社側が負担いたします。

日本予防医薬(株)のお買物優待券		
ご所有株式数100株以上の株主様を対象として、次の内容のお買物優待券を贈呈いたします。		
イミダペプチド(ドリンク)・ 同うめ風味(ドリンク)各30本入	定 価	1個 7,500円(税込)を 株主優待価格 1個 6,000円(税込)
イミダペプチドソフトカプセル 120粒入	定 価	1個 7,500円(税込)を 株主優待価格 1個 6,000円(税込)
イミダペプチドプレミアム 120粒入	定 価	1個 9,450円(税込)を 株主優待価格 1個 7,950円(税込)

- (ご注意事項)
- ※1 お買物優待券は専用の申込書を兼ねた形となっており、当該申込書の郵送以外の方法によるお申込みはお受け付けできません。なお、ご利用申込期限はありません。
 - ※2 お申込みは合計で4個までとなります。
 - ※3 個数にかかわらず、商品の送料として、全国一律300円を購入者にご負担いただきます。なお、申込書の郵送料は当社側が負担いたします。

